

写真4の6目のように織糸ずれや8目のように布目裂けを生じて、縫い目の強さとはならない縫い糸の太さと縫い目の強さは、針目が等しい時は縫い糸が太いほうが強さは大である。

スモックの場合は、ブロードのよこ布を縫い合わせることが多いから、糸は綿60~80番とし針目は、4~5目位が適当である。

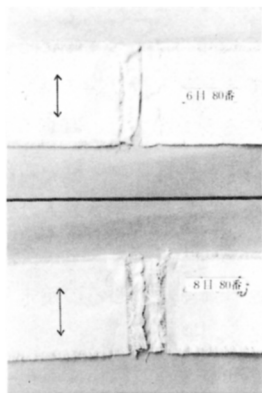


写真4 織糸ずれ・布目裂けの状態

(2) 縫い方による縫い目の強さ

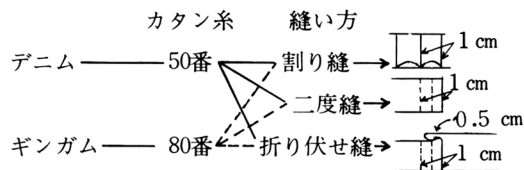
実験方法

① 実験材料

表5 実験材料

実験布	織 維	組織	厚さ mm	糸密度	
				たて	よこ
デニム	ポリエステル65%	綾織	0.45	36cm	34cm
	綿 35%				
ギンガム	ポリエステル65%	平織	0.23	33cm	24cm
	綿 35%				

③ 縫い方・方法



布の寸法は(1)の実験布と同じにする。布は、スモックの脇縫目としてよこ方向とする。ひとつの試料につき10枚用意する。

③ 測定機械

ショッパー型織物強伸度試験機

④ 実験結果及び考察

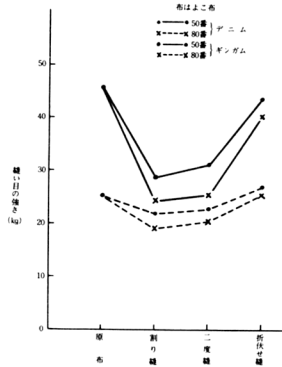


図2 縫い方と縫い目の強さ

縫い方による縫い目の強さは、割り縫いよりも縫い目2本の二度縫い折り伏せ縫いの方が強い。

特に折り伏せ縫いでは、割り縫いよりもその強さの程度は1.2~1.8倍である。スモックの場合は、発達段階からみて二度縫いが適当と思われる。

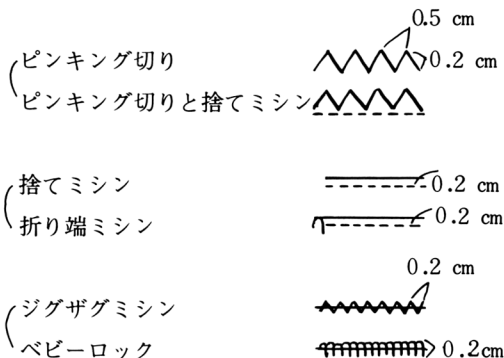
(3) 縫い代の始末と洗たくによるほつれの関係

実験方法

① 実験材料

(1), (2)の実験で用いたブロード、デニム、ギンガムを使用した。

② 縫い代の始末と組み合わせ



実験用布の寸法



ひとつの実験につき10枚用意する。

③ 洗たくの条件

洗たく機

洗たく法

洗剤 弱アルカリ性合成洗剤 0.08%

浴比 1:30